

年頭のあいさつ

選ばれる

まちづくりの推進

市長 奥ノ木 信夫



新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、平成29年の清々しい新春を健やかにお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

本市では昨年9月に人口59万5千人を超え毎月増加しており、政令指定都市を除けば全国で3番目の人口を有する大都市として成長を遂げています。

早いもので市長就任から間もなく3年が経とうとしています。昨年までを振り返りますと、公約に掲げました中核市への移行や川口市産品フェア開催をはじめとする地産地消を機軸とした市内経済好循環の創出に向けた取り組み、(仮称)川口市火葬施設及び(仮称)赤山歴史自然公園の整備・新市立高等学校の建設・新庁舎の建設という3大

プロジェクトの推進をはじめとした各政策もそのほとんどがレールに乗り、実現に向け着実に進んでおります。また、市内小中学校全教室へのエアコンの設置など実施済みの政策や市税収納率の向上などは具体的な成果を実感できるところまでできております。

これらはひとえに、市民の皆様のご理解・ご協力の賜物と、改めまして心から感謝と御礼を申し上げます。

本年は選ばれるまちづくり推進へのキーワードである「安全・安心」に重点を置き、喫緊の課題である待機児童を一刻も早く解消すべく、公設民営による「並木東保育園」の新設をはじめ、認可保育所11施設、小規模保育事業所9施設の整備により、1千人を超える

受け入れ枠を確保し、保育環境を充実させます。また、耐震化を図るために本市初となる公民館と合築した幸町小学校を建設するなど、安全で安心して子育てできる環境を整えて参ります。

さらには、プレミアム付き「元氣川口商品券」を発売し、消費拡大による市内経済の活性化を図るほか、地域から信頼される高度医療を担う医療センターの心臓外科新設、グリーンセンター50周年の記念行事など幅広い事業に全力で取り組んで参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆様にとりまして、明るく希望あふれる飛躍の年となりますよう、心から祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

笑顔と活気にあふれる
まちづくりの実現に向けて

議長 吉田 英司



新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた初春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年の本市議会を振り返りますと、政策条例2件を議員提案によって制定するという、大きな成果を出せた年でありました。

まず、3月定例会におきまして、「川口市文化芸術振興条例」を可決、成立いたしました。この条例は、文化芸術の振興について、市としての基本的な理念や施策を定め、市民の皆様が心豊かで活力ある生活を送り、魅力あるまちづくりを目指すことを目的としたものです。

また、12月定例会におきまして、

「川口市いじめを防止するためのまちづくり推進条例」を可決、成立いたしました。この条例は、いじめを原因とする深刻な事件が全国的に後を絶たない状況を踏まえ、本市におけるいじめの防止、早期発見、早期対応に向けた基本的な施策と、子どもを守るための組織体制を定めたものです。この条例に基づく取り組みによって、川口の未来の「希望」である大切な子どもたちが健やかに成長していけるまちを、地域社会全体で作り上げていくことを目的とするものです。

さらに、一般質問においては、延べ56人が登壇し、災害対策、福祉、環境、教育、産業振興、まちづくりなど、様々な視点から多くの質問、提言を行

い、市民生活の向上のために活発な議会活動を行って参りました。

新年を迎えるにあたり、私も市議会といたしましては、子どもたちの笑顔があふれ、一人ひとりが心豊かに毎日を送れるような、活気と魅力あるまちづくりに向けて、全議員一丸となって積極的な議会活動を展開し、市民の皆様への信頼に応えるべく、誠心誠意取り組んで参る所存でございます。より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして、健やかで実りある年となりますことを心から祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。